

上越市の産業

上越市は、古くから交通の要衝として栄え、現在においても重要港湾の直江津港をはじめ、北陸新幹線や北陸自動車道、上信越自動車道が広域的な交流を支えています。

市の産業を歴史的にひもとくと、冬期間の豪雪の雪解け水を活用し、国内でも比較的早い時期に水力発電所が建設されたことから、化学、鉄鋼などの工場の操業につながってきました。

これら企業は、長年培われてきたオンリーワンの技術やノウハウにより、国内のみならず、世界の舞台でも活躍する企業へと成長しています。

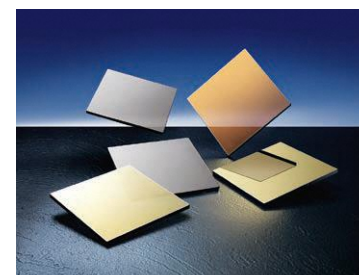
写真：「川は生きている 関川 姫川 水百選」より引用

上越で生まれたグローバル企業



株式会社有沢製作所

市内に本社を置く有沢製作所は、パソコンや携帯電話などに組み込まれる電子材料、航空機内装用パネルをはじめ、産業構造材料、電気絶縁材料など「織る、塗る、形づくる」の一貫した製造ラインと独自技術で、産業の発展に貢献しています。



信越化学工業株式会社 直江津工場

同社発祥の工場である直江津工場では、半導体の製造に欠かせないフォトリソグレイブや医薬品・食品、建築・土木などで利用されるセルロース誘導体、農業害虫の交信を抑制する合成性フェロモンなど、付加価値の高い製品を世界中に届けています。



日本曹達株式会社 二本木工場

旧中郷村（現中郷区）に設立した二本木工場では、日曹グループの主力工場として、各種化学製品や農薬などを世界に送り出してきました。近年は、時代の変化に合わせ、医薬品添加剤や新農薬の製造に力を入れています。